

## 平成29年度 第2回倉吉市地域学校推進協議会の概要

### 1 趣旨

各学校の「地域学校委員会」の代表や教員が一堂に会し、先進的な事例を学ぶとともに、活動状況の意見交換を行い、倉吉市地域学校委員会の取り組みのさらなる推進を図ることを目的とし開催している。

### 2 概要

- (1) 日時 平成30年2月3日(土) 9:30~12:00
- (2) 場所 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
- (3) 参加者数 57名
- (4) 内容

#### ①説明「倉吉市の学校と地域づくりについて」

倉吉市教育委員会 教育長 福井 伸一郎

国・県の動向及びこれまでの倉吉市の取組について説明を行った。これまでの成果を踏まえながら、さらに取組を充実させていくために、「ガラス張りから網戸の学校」へと転換し、地域と学校が一層、連携・協働していく必要性を確認した。

#### ②実践発表 「上灘小学校地域学校委員会活動報告」

倉吉市立上灘小学校 校長 山根 操 氏  
教頭 秋藤 二郎 氏

上灘小学校地域学校委員会の取組として、「教育を考える会」において、地域と学校が子どもたちのめざす姿を共有し、自分たちにできることを話し合った実践例を紹介していただいた。

また、子どもたちのコミュニケーション力を育むためには「ナナメの関係」が必要であるという話から、地域の大人の関わりが大切であることを再認識することができた。



#### ③講義「地域とともにある学校づくり」

鳥取県教育委員会事務局小中学校課  
指導主事 森原 千晶 氏

本年度より地域学校委員会がコミュニティ・スクール化したことに伴い、取組充実のためのポイントを説明していただいた。「目標やビジョンを共有した取組になっているか」「当事者意識は高まっているか」など、活動がさらに充実・発展していくための視点を示していただき、今後の地域と学校の連携・協働を進めていく上でのヒントをたくさんいただいた。



#### ④グループで意見交換

テーマ「地域の次世代育成について」

○現在それぞれの団体で実施されている児童生徒を対象とした事業をワークシートに整理するとともに、地域と学校が連携・協働して、取組を充実させるために何ができるのか話し合った。

	学校行事	地区公	青少協	放課後教室	社会福祉	スポーツ	その他
4月							
5月							

#### ⑤まとめ・アンケート

#### ⑥閉 会

### 3 参加者の感想

○改めてこれからの学校に求められるものを確認することができた。上灘小学校の発表にあったナナメの関係を自校でも強化させていきたい。

○地域と学校がお互いに当事者となり、共通の目標を持つことが大切だと感じた。地域学校委員会でしっかりと共通の目標を練ることが大切だと思う。



○子どもの成長を考え、実行していくためには、地域学校委員会が充実すること。どう動き、どう関わって向上するかだと思う。しっかり課題を話し合っていくことが大切である。グループでの話し合いでいい方向性が出てきたので、実行していきたい。

○子どもたちと地域のつながりだけでなく、地域と保護者のつながりができないとすべてがつながっていかないと思う。当事者意識を皆が持ち、全員で同じビジョンに向かっていくためにどのようにしていくか、もう一度考えていくことが大切ではないかと思う。

### 4 成果

国や県の動向及び倉吉市のこれまでの取組を踏まえ、学校と地域が協働して子どもを育てていくことの必要性について改めて考えることができた。

地域学校委員会において、地域と学校が目標・ビジョンを共有し、それぞれ自分に何ができるかという当事者意識を持つことができているか振り返る機会となり、今後の取組につなげることができた。